

# 生涯学習

生涯学習課 ☎ 43-3383  
 田沢湖公民館 ☎ 43-1061  
 角館公民館 ☎ 54-1110  
 西木公民館 ☎ 47-3100

## 平成27年度仙北市公民大学新規入学者募集締切迫る

仙北市公民大学は、5つの学科の中から選択して入学し、生涯学習を通じて共に学び楽しく集い、喜びと生きがいを見いだすとともに、地域社会の発展に寄与することを目的に開校されています。平成27年度の新規入学者締切が迫っていますので、ぜひお申込みください。

《参加対象》仙北市の方ならどなたでも入学できます。

《申込み》3月23日(月)まで

※最寄りの公民館に設置してある申込書に記入のうえ、お申込みください。

《問合せ》事務局(角館公民館)

### 《募集学科》

学科名	内容	主な学習会場	日時
郷土研究学科	郷土の歴史について学ぶ	榊細工伝承館	毎月第2火曜日 13:30~15:00
園芸学科	園芸の楽しさを初歩から(ダリヤ、菊花等)	伝承館向かい豊心園	月2回(木曜日)午前
書道学科	初歩から学べる	角館公民館	毎月第2・4水曜日 13:30~15:30
陶芸学科	陶芸の楽しさを学ぶ	角館東地区公民館	毎月第1・3火・木曜日 9:30~16:00
社会学科(下延・広久内・川崎校)	健康づくりと社会学習	月により変更	月1回 10:00~12:00

## サークル活動をしている方へお願い

生涯学習課では、市民の新しく何かを学んでみたい！趣味や特技を通じて新しい仲間や友人を増やしたい！そんな要望に答えられるよう、現在市内で活動しているサークル・団体等の情報をまとめた平成27年度版『仙北市

生涯学習ガイド』を作成します。

市広報、ホームページ等に掲載して活動内容等を紹介いたしますので、掲載を希望するサークル・団体等の情報をお寄せください。詳しくは生涯学習課まで。

### 生涯学習活動紹介

## エコクラフトの手作り教室「西木公民館」

西木公民館では、エコクラフトテープで可愛い手提げかご作りの教室が行われました。一見簡単そうに見えるですが部品数が多く、クラフトテープの裁断、本数の裂き方などパーツを取るために約1時間半も掛かりました。その後、かごの底作りから持ち手部分までの作業は大変根気の要るものですが、参加した皆さんの真剣に取り組む姿から一生懸命覚えようとする努力が感じられました。出来上がりそれぞれ、満足・不満足はありましたが、自宅で再挑戦して見事な作品を作ってくれた方もいましたので、この後



で、この後いろいろなタイプのかご作りに挑戦してくれることと思います。

### 生涯学習サークル紹介

市内で活動するサークルを紹介します。参加してみたいなど、活動に興味がある方は生涯学習課までお問い合わせください。

## ニットクラブ

年齢に関係なく、いつでも手軽に出来るのが編み物の魅力です。目数、段数を数えながら常に頭と手をフル回転しての編み物は当然脳にも良さそうです。先生の丁寧で優しい指導のもと、根気良くコツコツと一目一目編み完成された作品。それは世界でただひとつだけの素晴らしいセーター、ベストになります。月2回の和気あいあいとした楽しい教室、まさにこれこそ生涯学習と言えると思います。



活動日時 月2回 水曜日 10:00 ~ 15:00  
 活動場所 田沢湖総合開発センター 会員数 12人

## まちづくり日記

No.78

## 『春にふり返る冬の苦楽』

仙北市長 門脇 光浩

スケジュールを工夫して、一校でも多く卒業式に出席しようと考えています。校舎に差し込む春の日差しは暖かく、子ども達の表情に生命力を感じます。我が家の子とも達と共有できなかった時間を取り戻せそうなおもいがあります。

年を重ねるにつれ、冬が長くなっていきます。特に今年は除排雪の事故が多く、市内では命を落とされた方、雪下ろし作業で怪我をされた方々が続出しました。皆様には謹んで哀悼とお見舞いを申し上げます。

昨年は、高齢者の除排雪支援事業に不安を抱えながらも、降雪期を迎えました。地域運営体が担い手だった除排雪事業を見直し、新しい体制で臨みましたが、除排雪を依頼する側と、受け手側で上手にやり取りができるだろうか、「近所同士の助け合い習慣が壊れないだろうか、利用券の使い勝手は大丈夫だろうか」。

それらの全てが、現実には苦情として市役所窓口に殺到しました。受け手が不足し、後半になって運営体の協力をいたたくまで、要望にお応えできない状況が続きました。皆様に大変なご迷惑をかけてしまい、本当に申し訳ありませんでした。制度自体

の組み直しが必要です。

一方で、雪国の豊かさを改めて感じた幾つかの体験がありました。小正月行事の多様さと文化的背景は、観光素材として秀逸です。そしてフリースタイルスキー・ワールドカップ。本当に胸が高鳴りました。開催に向け多くの時間を費やしましたが、成功のうちに幕を閉じることができました。会場のたざわ湖スキー場は、新幹線からの距離、雪質、周辺の観光資源、市民のおもてなし、これをとっても申し分なく各国の競技関係者から、「奇跡のスキー場」と賞賛されました。

多くのスタッフには、それぞれの持ち場で最大の努力をいただきました。特に前日夜半の暴風雪に、また競技中の目まぐるしく変化する気象条件の中で、徹底的に競技コースを整備し続けた皆様に、とだけ感謝してもしきれません。

渦中では気付かなかったことが、過ぎると冷静に見渡せます。春になって、じっくりと振り返り、除排雪作業や小正月行事のこと、ワールドカップのパワーアップに向けて準備を進めます。

## 毎月19日は食育の日

## 食育って何だろう？

仙北市では、市民の皆さんが正しい食習慣を身につけ、健康で元気に暮らすための指針として「第2期仙北市食育推進計画」を策定しました。市民の皆さんに「食育」について知っていただくため、関連情報を掲載しますので、仙北市ホームページに掲載中の計画もあわせてご覧ください。

### 【最終回】地産地消

『地産地消』とは、地域で生産されたものをその地域で消費することですが、これは、農業者と消費者を結び付ける取組であり、これにより、消費者が、生産者と『顔が見え、話ができる』関係を築き、地域の農業と関連産業の活性化が図られることが期待されています。

近年、食をめぐる多くの問題から、食に関する関心が高まっています。『食』は生命の源であり、全てに密接なかわりを持つていますが、この『食』を支えるのは『農業』です。

地産地消は、単に『地場産品の消費拡大』という面だけでなく、『産地と食卓の交流』や『健康的な食生活の実現』『旬と食文化への理解』『環境保全』『地



《仙北市食育推進基本目標》  
 計画期間 平成26年度～平成30年度

『目指せ・正しい食習慣』  
 ～健康で元気に暮らすために～

域の活性化』など、いろいろな役割を持ち、『農業を守ることに』に直結しています。

これまでの1年間、各テーマを通じて『食育』についてお伝えしてきましたが、市民一人ひとりが、この食育について理解し、実践することによって、自身やご家族の心と体の健康、そして、地域農業の活性化に繋がることがわかりました。

これからも食育について推進していただきますようお願いいたします。